

授業案

この資料では、実際の授業の進め方について、コマごとの説明をしています。実際の学校での進行によって、柔軟な対応が必要になると思いますので、参考にしてください。

地域の魅力に触れて体感するSDGs

発行：宮城県松島町




松島

×

探究



- 
- STEP 1 事前学習 ----- P.4
 - STEP 2 現地での学習 ----- P.10
 - 探究スポット案内 ----- P.12
 - STEP 3 まとめ 松島町の魅力 ----- P.20
 - STEP 4 発展 自分たちの地域の魅力 --- P.22

年 組 番 名前

STEP 1. 事前学習

1コマ目. 旅行のテーマを決め、キーワードについて調べる

この教材の1コマ目として、この教材全体としての説明をまず行いましょう。その後、松島町への旅行のテーマを決め、キーワードについて事前に調べます。この活動を通じて現地の理解を深めるようにしましょう。

学習 目標

- ・教材を通じてSDGsを意識して地域の魅力を探していくことを理解する。
- ・松島町についての理解を深め、旅行のテーマとキーワードを決める。

活動 内容

- ・2～3ページの解説でSDGの基礎を学んだのち、松島町についての理解を深める資料を読んで、調べ学習を行う。

学習の 流れ

	時間の目安
① 教材全体の説明を聞き理解する	5分
② STEP1の説明を聞き理解する	2分
③ 探究テーマの情報を読む	10分
④ 旅行のテーマとキーワードを決める	3分
⑤ 直感的な印象について書き留める	4分
⑥ キーワードについて調べる	20分
⑦ 調べた内容をまとめる	6分

学習 環境

普通教室
調査については、調べ作業ができる環境（PCルームなど）

準備す るもの

- ・生徒用ワークブック 2～8ページ

学習の流れ 詳細

① 教材全体についての説明を聞き理解する

生徒用 2～3ページを使い、先生からこの教材で行う探究活動全体について簡単に説明をしていきます。詳細の説明はコマごとに行いますので、以下の点が伝われば良いでしょう。

- ✓SDGsは他人事ではないこと、身近な取り組みがSDGsにつながっていること。
- ✓自分たちが大切にしたいものを残していこうとする姿勢が持続可能性につながること。
- ✓松島町への旅をきっかけにして将来に残したい地域の【魅力】を考えていくこと。

座学・推論（思考レベル）だけでなく、現地探検・調査（経験レベル）をしていくことが、大切な要素になります。生徒たちに過度にプレッシャーをかけずに、楽しんで進めていけるようにアシストしてください。

② STEP1の説明を聞き理解する

次に、生徒用 4～5ページを開き、STEP1の手順を簡単に説明します。

- ✓このSTEP1では、個人ワークで簡単な事前学習を行った後に、グループで現地での工程表を作成します。
- ✓このコマでは、前半の個人ワークまでを行います。

③ 探究テーマの情報を読む

生徒用 6～8ページを生徒に読ませて、3つのテーマから1つを選択させましょう。

また、各ページの右下にあるキーワードを参考にしながら、キーワードも一つ設定させるようにしてください。ページに掲載していないキーワードを設定しても構いません。

④ 旅行のテーマとキーワードを決める

生徒用 4ページに、各自が選択した旅のテーマとキーワードを書き留めておきましょう。

学びのきっかけであり、特定の正解のあるものではありませんので、考えすぎないように、個人が気になることを大切にしようアドバイスをしてください。

⑤ 直感的な印象について書き留める

生徒用 4ページに、キーワードについての直感的な印象を書き留めておきましょう。

こちらも、この段階の印象の正しさを求めているわけではありません。事実かどうか？はこの時点では気にしないで良いです。生徒はどうしても「正解」を考えようとしてしまいますから、むしろ自由なひとりひとりの発想を大切に、違っても良いのでたくさん書くことを推奨してください。

⑥ キーワードについて調べる

文献やインターネットなどを活用してキーワードについて簡単に調べていきます。調べるにあたっては、以下の点に留意するようにアドバイスをしてください。調べた内容は、生徒用 5ページにメモをするようにします。

〈調べるときのコツ〉

- ✓情報の確からしさを意識する。
- ✓調べた内容は必ず『メモ』をとる。
- ◇次のページで詳しく解説しています。



ブログ



Wikipedia



官公庁の資料

⑦ 調べた内容をまとめる

生徒用 5ページに、各自が調査した結果の印象の変化やわかったことについて書き留めておきましょう。現地ではこのキーワードに関連するものを実際に発見していきます。

なお、次回の授業までに、生徒用 12～19ページを読んでおくように伝えてください。

学習の流れ 解説

◇ 調べるときのコツ／情報の確からしさを意識する

情報を調べる際には、まず、情報の確からしさを確認する意識を持つようにアドバイスをしてください。不確かな情報や、古い情報が混ざっている可能性があることを伝え、以下の点を確認するようにします。

- ✓情報源を必ずチェックする（特にインターネットの情報）。
- ✓いつの情報か、発信された時期を必ずチェックする。

ニュースサイトのチェックポイント

- ・出典はどの媒体か（新聞社、出版社など）
- ・引用や参考文献の表記はあるか
- ・記者名が書かれているか
- ・事実を述べているのか、記者の意見なのか

一般Webサイトのチェックポイント

- ・管理人の情報が掲載されているか
- ・更新日時／頻度
- ・広告目的ではないか
(商品購入ページへの誘導があるなど)

◇ 調べるときのコツ／調べた内容は必ず『メモ』をとる

情報を調べる際には、調べた内容のメモを必ずとるように伝えてください。その際には、以下の点を確認するようにします。

- ✓調べた情報の中で、重要・必要と思った部分は全てメモをとっておく。
 - ・文章を全部書くことは非効率なので、キーワードのみを書くなどの工夫をする。
 - ・文献はコピー、インターネット情報は印刷しておけると良い。
- ✓調べた内容だけでなく、情報源もメモをとっておく。



◇ 必要に応じてこのページを印刷して生徒に配布などをしてください

STEP 1. 事前準備

2コマ目. 松島町での行程表をつくる

2コマ目では、通常の修学旅行の事前準備などに合わせて、STEP2での学びについて説明するとともに、松島町での行程表をつくっていきます。通常の修学旅行の事前準備などの時間に、後述の内容を付け加えていただければと思います。

学習目標

- ・現地で何を行うかについて理解する。
- ・事前に松島町での行程表をつくる。

活動内容

- ・グループで松島町での行程表を話し合い、決定する。

学習の流れ

	時間の目安
① 現地でのグループ分けなどを行う(通常の方法で可)	(10分)
② 行程表のつくり方についての説明を聞き理解する	2分
③ 現地での行程表を話し合い決定する	23分
④ その他の準備などを行う(通常の方法で可)	(15分)

学習環境

普通教室

準備するもの

- ・生徒用ワークブック 5, 9, 12~19ページ

学習の流れ 詳細

① 現地でのグループ分けなどを行う(通常の方法でOKです)

従前の校外活動や修学旅行同様、現地でのグループ分けなどをしていきます。旅のテーマが同じメンバーでグループをつくる事を推奨しますが、学校ごとの状況に応じて、柔軟に対応いただければと思います。

② 行程表の作り方についての説明を聞き理解する

下記の手順で進めていくことを説明してください。

✓生徒用 12～19ページに松島町の探究スポットに関する説明がありますので、読み込ませるようにしてください。

(できるだけ前回の授業後の宿題として読ませておいてください)

✓アルファベットA～Mのスポットを中心に現地でどこに行くかを選択させてください。生徒用 6～8ページで選択した探究テーマの右下部分に代表的な探究スポットを記載していますので、そのスポットを中心に選択させると良いと思います。

✓生徒用 9ページに行程表の記入欄がありますので、グループで話し合い記入します。

✓移動時間については、同ページ上部に時間の目安がありますので参考にしてください。

✓各スポットの所要時間については、各探究スポットの説明と共に記載してありますので参考にしてください。

③ 現地での行程表を話し合い決定する

グループごとに、上記の手順に従い、生徒用 9ページの行程表を作成していきます。現地で活用しますので、行程表は各自の教材に共通のものを書くように伝えてください。

④ その他の準備などを行う(通常の方法でOKです)

修学旅行の事前準備や伝達事項は他にもあると思いますので、このコマで準備を進めてください。

STEP 2. 松島町の魅力の発見

フィールドワーク. 現地探索を行い、松島町の魅力を発見する

前回までに準備した活動計画をもとに、実際に探索を行いながら、松島町の魅力を見つけていきます。

生徒たちが、楽しみながら個々の感性を大切にして出来るだけたくさんの魅力を見出せるよう、前向きな気持ちを引き出す意識を心掛けてください。

学習 目標

- ・松島町の探索を行い、キーワードに関係したものを発見する。
- ・松島町の探索を行い、魅力を感じるものを発見し書き留める。

活動 内容

- ・松島町にてキーワードに関係するものを写真に収め、印象を書き留める。
- ・松島町の魅力について、二つの切り口で整理する。

学習 環境

現地（松島町）

準備す るもの

- ・写真を撮れる機材
- ・生徒用ワークシート 10～11ページ

学習の流れ 詳細

実際にフィールドワークを行うと、当初想定しない発見があるはずです。その発見こそが地域の探索（現地探検）ならではの体験になりますので、予定外の発見を積極的に写真に撮り、印象を書き留めるように生徒に伝えてください。

① 松島町を探索し、キーワードに関係したものをを見つける

キーワードに関連すると感じたものを積極的に写真に収め、印象などを書き留めていきます。

② 松島町を探索し、魅力を感じたものをまとめる

実際にフィールドワークを行うなかで魅力を感じたものを二つの切り口でまとめていきます。

◇次のページにて解説をしています。

学習の流れ 解説

◇ SDGsで配慮すべき3つの領域

生徒用 2ページにもあるとおり、SDGsでは全体的に見わたすことが大切ですので、今回のワークでも、地域の魅力を3つの領域それぞれの目線で見つめるようにアドバイスをしてください。各領域の例示については、生徒用 2ページ下の表（下図）を参考にしてください。

環境	社会・文化	経済
<ul style="list-style-type: none">・ 山・ 川・ 海・ 大気、空気（空）・ 景観、街並み など	<ul style="list-style-type: none">・ 建造物、施設・ 行事・ 暮らし・ 伝統工芸・ 制度 など	<ul style="list-style-type: none">・ 観光資源・ 農業・ 林業・ 水産業・ 畜産業・ 交通 など

◇ 「風土」を意識した切り口

地域の魅力を将来に向けて維持・持続していくことを考える際に、生徒の感性を活かし、活用していくために「風土」という切り口で魅力を整理してみることをお勧めします。生徒に生徒用 23ページの解説を参考にしてください。

風（=新しいもの）には、よそ者（新しい場所からの影響）、若者（新しい時代の影響）が含まれます。修学旅行では、自分の身近な地域以外を訪れますから、まさに、生徒たちは風の目線で松島町の魅力を見つめることができます。

この整理にも、「正解」はありませんし、正解を求めるものでもありません。それぞれの感性で見つめてみる経験自体が、その後の探究活動に役立つものになります。自由に発想記入できるようにサポートをしてください。



STEP 3. 松島町の魅力についてまとめる

3コマ目. 松島町の魅力について3つの領域を意識してまとめる

このコマでは、現地で発見した魅力をもとに、SDGsの3つの領域を意識してまとめていきます。魅力を支える要素や、様々な関係者の存在を意識することで、松島町の魅力をより深く理解することができます。更に、相互に整理した魅力を共有することで、多様な感性を感じるすることができます。それぞれの感性を尊重し、生徒が自信を持って自分の感じたことを表現できるようにサポートしてあげてください。

学習 目標

- ・SDGsで配慮すべき3つの領域を意識して松島町の魅力をまとめる。
- ・魅力を支える要素や、関係者について更に考えを深める。
- ・まとめた魅力についてグループで共有し多様性を認識する。

活動 内容

- ・現地で見つけた“松島町の魅力”について書き出し、図にまとめる。
- ・まとめた図をグループごとに共有する。

学習の 流れ

	時間の目安
① STEP3についての説明を聞き理解する	5分
② 見つけた松島町の魅力を選択し中心に記入する	3分
③ 見つけた魅力を支える要素・取り組みを考え記入する	10分
④ 取り組みを支える関係者について考え記入する	10分
⑤ 魅力に関わる活動から生まれた成果を考え記入する	10分
⑥ 記入した図をグループで共有する	12分

学習 環境

普通教室

準備す るもの

- ・生徒用ワークブック 20～21ページ
- ・グループごとの図を作るための小さな付箋（推奨）

① STEP3についての説明を聞き理解する

生徒用 20ページを使い、先生からこの教材で行う探究活動全体について簡単に説明をしていきます。大きく1~4の四つのプロセスを行っていきます。記入は、生徒用 21ページに行ってください。各自が21ページの図を作成しますが、作業中もグループの他のメンバーの作業を参照しながら進めて構いません。むしろ、他の切り口や意見を知ることが、「多様性の理解」につながりますので、グループで集まって作業をしてください。

また、小さな付箋を使って記入するようにすると、修正などがラクになりますので、付箋を活用することをお勧めいたします。

② 見つけた松島町の魅力を選択し中心に書き出す

まず最初の作業として、現地で見つけた魅力の中から整理したいものを選択し、中心に書き込みます。例では「松島湾」となっていますが、ある程度大きい（抽象度の高い）ものを、一旦中心に記入する事から始めた方が以降の作業がやりやすいと思います。

③ 見つけた魅力を支える要素・取り組みを考え記入する

次の作業として、中心に記入した魅力に関連する要素や取り組みを3つの領域を意識して記入していきます。3つの領域全てに要素が入らない場合もあると思いますが、この活動も「正解」を求めるものではありませんので問題はありません。一つの領域にしか記入できないといった場合は、前述のとおり、中心に記入する魅力を少し大きなものにしていただくことをアドバイスしてください。

④ 取り組みを支える関係者について考え記入する

更に、それぞれの要素・取り組みに関連する関係者について記入をしていきます。多くの関係者の協働の結果として魅力が維持されていることを感じる事が大切です。この作業により、生徒用 2ページで説明している、SDGsの3つのPOINTの一つである、「協働性」を認識するようにアドバイスをしてください。

⑤ 魅力に関わる活動から生まれた成果について考え記入する

最後の作業として、魅力に関連する要素や取り組みがどのような成果・影響につながっているかを考え記入します。ここでも、「正解」ではなく、自分なりに考えてみることを、関連性を意識してやることを目標としてください。社会活動の影響を正確にとらえることは容易ではありませんが、ものごとのつながりや影響を意識すること自体が、SDGsを扱う際に大切な考え方になります。

例えば、松島湾の水質を良くするための活動は、直接的には環境の領域に影響するものですが、それが、地域観光の魅力につながり、経済の領域にも影響を与えていきます。

このように、複数の領域に影響が及ぶ活動などを見つけることができれば、SDGsの3つのPOINTの一つである「同時解決性」を見出したことになります。

⑥ 記入した図をグループで共有する

それぞれの図が完成したら、グループで共有を行ってください。ここでも「多様性」を意識する意味でも、様々な意見がある方がよいということを伝えてください。

STEP 4. 発展 自分たちの地域の魅力を考える

4コマ目. 自分たちの地域の魅力についてグループで考える

この教材の最後の時間として、STEP3の活動を参考にしながら、自分たちの地域の魅力についてもグループで考えていきます。他の地域を知ることによって、自分たちの地域の魅力についても自覚しやすくなります。教材の冒頭で説明した「SDGsで配慮すべき3つの領域」を意識しながら、改めて自分たちの暮らす地域の魅力について考えさせるようにしてください。

学習 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・“松島町の魅力”をまとめた方法を自分たちの暮らす地域に当てはめる。 ・“地域の魅力”について考えをまとめる。 																
活動 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの暮らす“地域の魅力”について付箋に書き出し、グループごとに話し合いながら、図にまとめる。 																
学習の 流れ	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: right;">時間の目安</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">① STEP4についての説明を聞き理解する</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">2分</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">② 自分たちの地域の魅力を予測し中心に記入する</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">3分</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">③ 魅力を支える要素・取り組みを予測し記入する</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">10分</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">④ 取り組みを支える関係者を想定し記入する</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">10分</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">⑤ 魅力にまつわる活動から生まれた成果を想定し記入する</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">10分</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">⑥ 魅力に「風」を加えて新しい魅力を考えてみる</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">10分</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">⑦ いくつかのグループに発表をしてもらう</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">5分</td> </tr> </tbody> </table>	時間の目安		① STEP4についての説明を聞き理解する	2分	② 自分たちの地域の魅力を予測し中心に記入する	3分	③ 魅力を支える要素・取り組みを予測し記入する	10分	④ 取り組みを支える関係者を想定し記入する	10分	⑤ 魅力にまつわる活動から生まれた成果を想定し記入する	10分	⑥ 魅力に「風」を加えて新しい魅力を考えてみる	10分	⑦ いくつかのグループに発表をしてもらう	5分
時間の目安																	
① STEP4についての説明を聞き理解する	2分																
② 自分たちの地域の魅力を予測し中心に記入する	3分																
③ 魅力を支える要素・取り組みを予測し記入する	10分																
④ 取り組みを支える関係者を想定し記入する	10分																
⑤ 魅力にまつわる活動から生まれた成果を想定し記入する	10分																
⑥ 魅力に「風」を加えて新しい魅力を考えてみる	10分																
⑦ いくつかのグループに発表をしてもらう	5分																
学習 環境	普通教室																
準備する もの	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒用ワークブック 22～23ページ ・グループごとの図を作るための小さな付箋（推奨） 																

学習の流れ 詳細

① STEP4についての説明を聞き理解する

STEP3で行った作業の流れを自分たちの地域に当てはめていくことを説明します。作業の流れについては、生徒用 20ページを参照しながら、22ページに記入していくことを説明します。今回はグループで作業を進めますので、最初の段階でグループで、「自分たちの地域」とはどこか?を決めさせるようにしてください。

② 自分たちの地域の魅力を予測し中心に書き出す

まず最初の作業として、地域の魅力についてグループで予測・選択し中心に書き込みます。グループメンバー全員にとってなじみのある地域を選んで予測するようにします。

③ 魅力を支える要素・取り組みを予測し記入する

次の作業として、中心に記入した魅力に関連する要素や取り組みを3つの領域を意識して予測し記入していきます。3つの領域全てに要素が入らない場合もあると思いますが、この活動も正解を求めるものではありませんので問題はありません。

④ 取り組みを支える関係者を想定し記入する

更に、それぞれの要素・取り組みに関連しそうな関係者について記入をしていきます。予測ですから、間違っていることもあると思いますが、様々な関係者を考えさせることが大切です。

⑤ 魅力に関わる活動から生まれた成果について想定し記入する

円の図を使った最後の作業として、魅力に関連する要素や取り組みがどのような成果・影響につながっているかを考え記入します。ここでも、「正解」ではなく、自分たちなりに考えてみることを、関連性を意識してみることを、を目標としてください。社会活動の影響を正確にとらえることは容易ではありませんが、ものごとのつながりや影響を意識すること自体が、SDGsを扱う際に大切な考え方になります。

⑥ 魅力に「風」を加えて新しい魅力を考えてみる

生徒用 23ページの説明を読みながら、想定した「今あるであろう魅力(土)」に、さらにどのような「新しいもの(風)」を組み合わせることができるか? その結果どのような新しい魅力(芽)が生まれるか? について、グループでアイデアを出していきます。

この学びの段階では、「実現性」などは意識する必要はありません。発想を広げながら、自分たちの地域の魅力をとらえてみることを自体を目的として進めてください。

⑦ いくつかのグループに発表してもらう

それぞれのグループが考えた、自分たちの地域の魅力(生徒用 22ページ)を相互に共有するようにしてください。授業のコマ数などに余裕があるのであれば、別途発表と共有の時間を設けていただければと思いますが、時間がない場合は、この時間では、いくつかのグループに発表してもらうか、2グループをペアにして相互に発表するようにしてください。更に、後日、該当ページのコピーを壁などに掲示して相互に確認する方法で共有をしていただければと思います。